

第3回さんかく塾

「男性の生きづらさに寄り添う～だれもが生きやすい社会に～」

講師：立命館大学教授 中村正さん

開催日：9月8日（日）

参加者 37名

立命館大学の中村正教授の講演では、臨床の現場におけるエピソードを交えながら、男女間で男性が暴力や犯罪を起こしてしまう理由についてお話しいただいた。男らしさ規範（主観的なもの）の中で、「性的な奔放さ」「女性支配の意識や態度」「助けを求めない行動」が犯罪と強い相関関係があり、この男性性ジェンダーがDVや虐待とつながりやすくなっている。この問題を解決していくためには男性に対する支援が必要である。子供を虐待した男性・父親のために、加害者同士の対話を重視し、加害男性が自己の内面に抱えている問題の解決方法を暴力、虐待に向けてしまうという解決行動を修正するため、問題点を認識し改善へ向ける「男親塾」での中村教授自身の取り組みから、相談や自らのジェンダーに対する規範を学び直す場が必要となることを訴えられた。

最後に、人とのやり取りの中で、事実を伝えるためのコミュニケーションである「レポート・トーク」から 相手に共感し、関係をより良いものにしようとする気持ちを伝えるコミュニケーションである「ラポート・トーク」へ変えていきましょうとメッセージをいただいた。ラポート・トークでは互いに自己決定の場が与えられ支配、被支配の関係がなくなり、互いの信頼が生まれる。「誰もが生きやすい社会」を作るヒントをいただいた。

